

特集

弘前市合併 10 周年

市政情報

- ◆引っ越しに伴う各種手続き
- ◆ヒロコ総合行政窓口の土日受け付けと平日受付時間の延長
- ◆4月から水道料金徴収業務などを民間委託
- ◆青葉団地市営住宅の入居者を募集 ほか

学生企画コーナー

もっと②♥弘前!!

フォトコレ in ひろさき

弘前城雪燈籠まつり、小学生ねまり相撲大会 ほか

暮らしの information

イベント、教室など

Health Information

健康の掲示板
高血圧予防・改善

読者のひろば

smile 通信

弘前図書館近着図書紹介
食改さんおすすめレシピ
さらっと一句・川柳

特集 弘前市合併 10 周年

平成 18 年 2 月 27 日、弘前市、岩木町、相馬村が合併し、新しい弘前市が誕生しました。「子どもたちの笑顔あふれるまち弘前」を目指し、歴史や文化、豊かな自然や地域の特性などを生かして、市民一人ひとりが生き生きと生活できる市となるよう、皆さんとともに歩み続けてきました。今号では、合併後 10 年間の歩みを振り返るとともに、未来へ向けた取り組みについて紹介します。

【平成 18 年 3 月 1 日号】



【今号の表紙】

僕たち私たちも祝 10 歳！
合併後の広報ひろさき創刊号（平成 18 年 3 月 1 日号）の表紙を飾った子どもたちも 10 歳に。将来の夢（下記「」内）をとびきりの笑顔で教えてくださいました。



【平成 28 年 3 月 1 日号（今号）】



- ①福田 一樹 くん…「ロボット作り」
- ②宮下 玲菜 さん…「医者」
- ③竹内 光采 さん…「料理人」
- ④佐藤 陸 くん…「卓球選手」
- ⑤佐藤 蓮汰 くん…「水泳選手」
- ⑥小山内美鶴 さん…「研究者」
- ⑦今 愛里 さん…「声優」
- ⑧秋田 芽玖 くん…「医者」
- ⑨長谷川 鈴 さん…「医者」
- ⑩大高 花美 さん…「ごきん刺し職人」

- ⑪瓜田 陽 くん…「陸上選手」
- ⑫成田明佳音 さん…「ケーキ屋さん」
- ⑬荒内 琉牙 くん…「プロ野球選手」
- ⑭田中 勝真 くん…「ゲームプログラマー」
- ⑮新岡明日実 さん…「助産師」
- ⑯山口 瑠太 くん…「大工」
- ⑰有馬 志桜 さん…「パティシエ」
- ⑱佐藤 凜空 くん…「オリンピック選手」
- ⑲對馬 伊吹 くん…「警察官」
- ⑳高杉 彩月 さん…「ペットショップ店員」

合併 10 周年を迎えて



弘前市長 葛西 憲之

誇りと郷土愛を育むまちへ

合併 10 周年を迎え、振り返りますと旧 3 市町村が持つ多彩で優れたコンテンツがつながり大きな広がりをみせるとともに、「弘前城築城 400 年祭」や「弘前城天守曳屋（ひきや）」など活気に溢れ歴史的な出来事が多い 10 年間だったのではないかと感じております。

当市は、津軽地域の中心市としての役割を担い、豊かな自然や伝統と歴史、観光、りんご、学都、医療など、多様な優位性があると同時に、先人たちが築きあげた気質と誇りが残るまちでもあります。このような優位性そして郷土愛を胸に、市民がまちに誇りをもち、市の将来都市像である「子どもたちの笑顔あふれるまち弘前」の実現に向け「オール弘前」体制で取り組んでいけるよう、今後も皆様のさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。



弘前市議会議長 下山 文雄

次なる飛躍

新弘前市としてスタートし、10 年の節目を迎えました。

改めて「合併とは何か」と自問してみれば、全ての地域を均質化することではなく、『新たな融合という市民意識の醸成を図りつつも、それぞれの地域がもつ豊かな地域資源、知恵と伝統、文化的財産などの地域を地域らしくしている個性を高めていこうとすることではないか』というところに思い至りました。

私ども市議会といたしましても、地域が地域らしく、そして、市民の皆様が夢と希望を抱けるまちづくりを進めてまいりたいと思っております。

市民の皆様には、これまでも温かいご理解とご協力を賜りました。今後ともご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。



新たな出会いや交流を大切に

弘前市立岩木小学校
教諭
工藤 隆幸 さん

旧岩木町で育ち、出身校で児童を指導していることもあり、地元に対する強い愛着心があります。岩木地区の魅力は、住む人の教育熱心な気質、地域に対する思いの強さだと思っています。合併後は、教育関係の研究会などの場において情報交換や研修の質が高まったり、新たな出会いや交流が広がったりと、いい刺激になっています。今後もコミュニティを大切にし、弘前市の魅力を高めたいと思っています。

優しく、そして おもしろいまち

FM アップルウェーブ
パーソナリティ
花田 由香子 さん

合併とほぼ同時にパーソナリティーになりましたが、ラジオの中継などを通して感じるのは、弘前市の人の優しさです。町行く人がよく手伝ってくれたりするのですが、話してみると皆さん熱い思いを持っている、自慢したいことはいっぱいあるのに、マイクを向けるとシャイになったりところが弘前の人のおもしろさでもありますね。これからもそんな優しさとおもしろさで溢れる弘前であってほしいです。

もっと発信 地元の魅力

りんご・花農家
三上 隆基 さん

相馬地区で生まれ育ちましたが、昔から買い物などを通して、弘前が別な町という感覚はそれほどありませんでした。ねぶたまつりに関しては、見る文化から運行する側になり、自分の中では喜び混じりの衝撃でした。弘前は農産物、歴史、観光などさまざまな部分でいい素材の宝庫。弘前を全国、世界へ発信していく中で、生まれ育った相馬の歴史や文化、人の温かさをもっと皆さんに知って欲しいと思っています。